

村農第 9 0 7 号
令和 2 年 11 月 19 日

村上市森づくり基本計画策定委員会
委員長 村 上 拓 彦 様

村上市長 高 橋 邦 芳

村上市森づくり基本計画の策定について（諮問）

村上市森づくり基本計画策定委員会条例第 2 条の規定に基づき、下記の事項について諮問いたします。

記

諮問事項

- 1 村上市森づくり基本計画の策定について
 - （1）目標林型の設定と森林区分（ゾーニング）
 - （2）人工林として経営すべき森林と天然林に誘導すべき森林との峻別
 - （3）森林保全及び林業振興施策等の検討

諮問趣旨

本市面積の 8 5 % を占める森林は、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎えており、素材生産量は新潟県の 3 4 % を占め、品質ともに県産材の主要産地と期待されております。

しかしながら、森林、林業及び木材産業を取り巻く情勢は、長引く木材価格の低迷や、林業就業者の減少等により、生業としての林業は憂慮すべきものであります。

近年では自然災害が頻発するなど、森林の有する土砂災害防止や洪水緩和といった機能の重要性が一層高まっています。

平成 31 年 4 月より森林経営管理法が施行され、本市では林業経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営体に繋ぐことで林業経営の集積・集約化を図り、林業経営に適さない森林については市が自ら経営管理を行うこととしています。

持続可能な森林経営を行うためには、森林生態系の健全性を維持しつつ、森林の多面的機能を将来に渡り持続的に発揮されるシステムの構築とともに、その担い手を確保していく必要があります。

また、わが国では 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ（カーボンニュートラル）にする、脱炭素社会の実現を政策目標に掲げていることから、本市として国が目指す脱炭素社会の実現に向けての取り組みなど、本市が主体となった森林整備の指針となる「村上市森づくり基本計画」について貴委員会の意見を求めます。